

事業報告

I 総括

特別国民体育大会は、優勝種目がバスケットボール競技成年男子の1つに留まる結果となったが、前人未到の5連覇（9度目の優勝）という輝かしいものであった。また、フェンシング競技においては、成年男女フルールでの準優勝をはじめ全種別で入賞を果たし、17年ぶり8度目の競技別総合優勝を果たした。入賞数は冬季大会が28、本大会が34で、天皇杯得点は745.5点、天皇杯順位は41位と前回の栃木大会の31位から順位を落とす結果となった。

名称が変わった第78回国民スポーツ大会冬季大会では、北海道苫小牧市で開催されたスケート競技会で令和元年以来の入賞を果たした他、山形県で開催されたスキー競技会では6種目での優勝をはじめ21の入賞を果たし、男女総合は3位、女子総合では1位を収める素晴らしい結果となり、スケート・スキーを合わせた冬季国スポでは、男女総合139.5点（10位）を獲得し、第78回佐賀国スポに向け弾みを付けた。

チームAKITA強化・育成システム3年目は、新型コロナウイルス感染症が感染症法上の分類が5類に引き下げられたこともあり、指定9競技団体は積極的に事業を実施した。競技団体の一貫した指導体制による強化を柱として、各競技団体が県外専門指導者の招聘や県全体を視野に入れた選手選考、カテゴリーを超えた事業の実施等の本システムで求める様々な事業に取り組むことができた。指定競技のスキーでは、上記「やまがた雪未来国スポ」での活躍の他、インターハイでクロスカントリー男子10kmクラシカルで藤本孝輔（秋田北鷹高）、男子リレーで秋田北鷹高、男子学校対抗でも秋田北鷹高が優勝を果たした。相撲では、インターハイ個人80kg級で山城結（秋田北鷹高）が優勝、レスリングや陸上競技、フェンシングにおいてもインターハイや国民体育・スポーツ大会で多くの入賞があり、本システムの成果を感じている競技団体が多くあった。

秋田県中学生強化選手においては、全国中学校体育大会相撲競技で北秋田市立鷹巣中学校が団体で準優勝。また、柔道競技の女子個人70kg超級で齊藤優梨花（大仙市立大曲中学校）の3位を含む4階級で入賞があった。

社会人スポーツ強化チームでは、冒頭に記載のJR東日本秋田バスケットボール部が国体で5連覇を果たした。また3月に行われた高松宮記念杯第6回全日本社会人バスケットボールプレミアムチャンピオンシップにおいて、JR東日本秋田バスケットボール部が3年ぶり2度目、秋田銀行女子バスケットボール部は4年ぶり3度目の優勝を果たし、県勢では初のアベック優勝となった。女子バドミントンの北都銀行は主力が海外遠征で抜ける中、国体成年女子で5位となったほか、永原・松本ペアは、1月に行われた世界バドミントン連盟が主催するワールドツアーのひとつであるインド・オープン2024で優勝を果たした。ラグビーフットボール競技の秋田ノーザンブレッツラグビーフットボールクラブは国体成年男子で7位に入賞した。

アスリートの就職支援では、年度を跨いだ4名を含む13名を支援した。スキー競技トップアスリートの4選手は競技専念型を希望し、また他の競技選手においてもより高みを目指して県内内定を辞退し、県外での練習環境を求めるなど就職実績には結びつかず、課題を残す年であった。

スポーツの普及啓発・広報では、機関誌「スポーツ秋田」の発行やホームページによる情報発信を行ったほか、創立100周年に合わせ、県内でのスポーツ活動の100年の歩みやこれからの秋田のスポーツなどについて、記念シンポジウムや記念式典等を開催し、記念史の製作など記念事業を行った。

生涯スポーツの振興では、総合型クラブの登録・認証制度の運用が開始され、県内22クラブが

全国協議会に加盟し、より公益性の高い社会的な仕組みの中、各クラブが自立的な運営を含む質的充実に向けて取り組んだ。

また、スポーツ少年団活動では、交流大会を開催し団活動の活性化を図ったほか、スポーツ少年団の指導者育成のため、養成講習会や研修会の実施、団活動等を紹介する広報誌の発行や創設から60年となる節目として、記念誌の発行や記念表彰等を実施した。

II 事業内容

《公1》競技スポーツ事業

【4,904千円】

1 第74回県民体育大会

- (1) 第74回県民体育大会の運営に必要な経費の一部助成
- 2 競技の中止により、39競技 5,181名が参加

《公2》スポーツの競技力向上及び普及等に関する事業

【116,894千円】

1 競技力向上対策事業

(1) スポーツ医・科学の活用

スポーツドクター、トレーナーによるスポーツ医・科学的サポート

- ①国体・国スポの選手・指導者のメディカルチェック及びサポート

国民体育大会本大会と国民スポーツ大会冬季大会で実施

- ②国体・国スポへの本部役員帯同ドクターの派遣 本大会2名派遣、冬季大会2名派遣

- ③国体・国スポへの本部役員帯同アスレティックトレーナーの派遣

本大会3名派遣、冬季大会2名派遣

- ④アンチ・ドーピング講習会の開催

県内トレーナー・栄養士・競技団体強化担当者 [令和5年7月17日] 中止

国体出場選手 [令和5年9月1日] 実施

(2) 東北ブロック・国体・国スポへの選手団派遣

- ①東北ブロック大会兼第50回東北総合体育大会（岩手県）

[令和5年8月19日～21日（主会期）]

夏季競技会2競技中止

エントリー数 35競技 846名

- ②特別国民体育大会本大会（鹿児島県）

[令和5年9月16日～10月17日（本大会）]

エントリー数 28競技 350名

- ③第78回国民スポーツ大会冬季大会

スケート競技会 [令和6年1月27日～1月31日]（北海道苫小牧市）

エントリー数 1競技 12名

スキー競技会 [令和6年2月21日～24日]（山形県山形市、上山市、最上町）

エントリー数 1競技 70名

(3) チームAKITA強化・育成システムによる選手育成・強化

- ①チームAKITA強化・育成システム

指定の9競技団体にスポーツ振興課・保健体育課・スポーツ科学センター・本会の4課合同視察を行い、強化練習会の激励・戦力分析の実施

- ②中学生強化選手の指定・研修

選手の指定 [令和5年 6月25日] 13競技 46名

[令和5年11月25日] 8競技 29名

メディカルチェック（身体検査・採血検査）[令和5年6月25日、11月25日] 実施

競技力向上研修（宿泊研修等）[令和5年8月26～27日（27日のみの日帰り研修に変更）]

中・高連携強化プロジェクト（パフォーマンステスト・指導者研修）

[令和5年11月11日、令和6年2月12日] 実施

(4) テクニカルアドバイザー等による競技力向上

テクニカルアドバイザー（9名）、ジュニア育成アドバイザー（2名）を配置

(5) 社会人チームの支援及び強化

国体等で活躍する社会人スポーツ選手の競技力向上のための支援

(6) トップアスリートの活躍を支援する取り組み

現役アスリートが県内に就職し競技を続行できるようにするため、アスリート就職推進アドバイザーを配置し、求人・求職情報の収集とマッチングサポートを実施

（支援者延べ13名、事業適用者なし、候補者4名、その他支援者9名）

2 スポーツの普及・振興を図るための広報活動

(1) 機関誌「スポーツ秋田」（年3回 各2,000部）

(2) スポーツ関連情報をホームページで発信

(3) 創立100周年記念事業として、記念シンポジウムを開催したほか、創立100周年記念史の製作、横断幕の作成を実施

記念シンポジウム [令和5年5月21日]

3 加盟団体が実施したスポーツ事業への助成

(1) 地域団体及び学校体育団体へ助成（28件）：加盟団体育成事業交付金

(2) 競技団体へ助成（10件）：スポーツ振興助成事業助成金

4 体育・スポーツの振興に顕著な功績があった者の顕彰

(1) 秋田県スポーツ賞表彰 [令和6年3月21日]

功労賞4名、栄誉賞4名、特別賞1団体、生涯スポーツ賞2名・2団体、国際奨励賞5名、優秀指導者賞2名、栄光賞27名・17団体、奨励賞15名・3団体

(2) 人見スポーツ賞表彰 [令和6年3月21日]

個人の部 本田 千佳（スキー・早稲田大学4年）

団体の部 秋田県成年男子チーム（バスケットボール）

(3) 畠沢国体・国民スポーツ大会賞表彰 [令和6年3月21日]

個人の部 藤本 孝輔（スキー・秋田北鷹高校3年）

団体の部 秋田県男女総合チーム（フェンシング）

(4) 辻ジュニアスポーツ大賞表彰 [令和6年3月21日]
個人の部 金丸 拓寛 (スキー・小坂中学校3年)
団体の部 鷹巣中学校相撲部 (相撲)

(5) 蒔苗スポーツ指導者賞表彰 [令和6年3月21日]
古矢 勝久 秋田北鷹高校スキー部監督

5 人見スポーツ傷害基金による傷害防止対策事業
研修会 中止
死亡弔慰金の給付 該当なし

6 競技団体が実施する競技会等の共同主催 (後援)
共同主催 2件 (県体、東北総体)
後援 68件

7 スポーツ安全保険業務
年間を通じて、スポーツ安全保険の普及活動を行ったほか、スポーツ活動等の普及奨励及び安全指導の実施

《公3》生涯スポーツ振興事業

【33,017千円】

1 総合型地域スポーツクラブの育成指導・助言

(1) 総合型クラブの登録・認定
県内 22クラブ

(2) 総合型地域スポーツクラブ連絡協議会事業

①総合型地域スポーツクラブ常任幹事会・総会

- ・第1回常任幹事会 [令和5年4月24日]
- ・総会 [令和5年6月5日]
- ・第2回常任幹事会 [令和5年10月30日]
- ・第3回常任幹事会 [令和6年3月4日]

②東北ブロッククラブネットワークアクション2023の開催(主催：日本スポーツ協会)

- ・実行委員会 [1回目：令和5年7月28日]
- ・実行委員会 [2回目：令和5年8月22日]
- ・秋田県開催 [令和5年11月11日12日] 参加者86名 (秋田県30名)

③スポーツクラブ推進体制基盤強化事業 (国庫補助事業)

- ・地域スポーツ推進団体連絡会議 [1回目：令和5年7月5日]
[2回目：令和5年9月22日]
[3回目：令和6年1月16日]
- ・地域スポーツクラブ実践事例集の収集と登録審査 (21クラブ)
- ・先進クラブ視察 [新潟県村上市：NPO法人希楽々] [令和5年11月20日・21日]
- ・地域スポーツ関係者同士の意見交換と研修会
[総合型地域スポーツクラブの活動と運営] [令和6年1月17日：午前]
[部活動地域移行] [令和6年1月17日：午後]

(3) チャレンジデーへの参加促進

県内15市町村で実施 参加者203,536人 参加率52.5% [令和5年5月31日]

2 スポーツ指導者養成のための講習会、研修会

(1) スポーツ指導者研修会

第1回秋田県スポーツ指導者研修会 [令和5年6月11日] 参加者34名

第2回秋田県スポーツ指導者研修会 [令和5年7月8日] 参加者21名

第3回秋田県スポーツ指導者研修会 [令和5年11月3日] 参加者75名

(2) コーチ1養成講習会

日本スポーツ協会公認バレーボールコーチ1 (専門科目) 養成講習会
[令和5年4月15日～4月22日] 参加者38名

日本スポーツ協会公認軟式野球コーチ1 (専門科目) 養成講習会
[令和5年11月11日～11月18日] 参加者48名

日本スポーツ協会公認ソフトテニスコーチ1 (専門科目) 養成講習会
[令和5年12月9日～令和6年1月14日] 参加者15名

3 スポーツ少年団の競技別交流大会、リーダー養成の研修会等の実施

(1) 交流大会

①第60回秋田県スポーツ少年大会 (仙北市、令和5年7月28日～30日 62名)

※この大会を創設60周年記念事業の1つとして開催した

②第46回秋田県スポーツ少年団大会 (各地、令和5年6月～令和6年2月)

サッカー (令和5年6月17日～18日 736名) 柔道 (令和5年10月22日 149名)

バレーボール (令和5年7月29日～30日 674名) 軟式野球 (令和5年8月8日～11日

329名) ラグビー (令和5年9月23日～24日 273名) 卓球 (令和5年11月19日 2

59名) ミニバスケットボール (令和5年11月25日～26日 女子204名 令和5年12

月2日～3日 男子217名) スキー (令和6年1月8日 ジャンプ10名 令和6年2月4

日 アルペン40名 令和6年2月10日～11日 クロカン50名) の8競技を実施した。

③東北ブロックスポーツ少年団競技別交流大会 (2県で開催、令和5年7月～令和6年3月)

サッカー (秋田県 令和5年7月16日～17日 2団) 軟式野球 (岩手県 令和5年7月8日

1団) 柔道 (岩手県 令和5年12月2日～3日 4団) ミニバスケットボール (秋田県

令和6年2月24日～25日 女子2団 令和6年3月2日～3日 男子2団) の4競技を実施

した。

(2) リーダー養成 (随時開催)

①リーダー会総会 (秋田市、令和5年6月4日 指導者5名、団員25名)

②ジュニアリーダースクール (仙北市、令和5年7月28日～30日 団員62名)

③リーダー研修会 (秋田市、令和6年3月20日 指導者6名、団員15名)

④リーダーの集い (秋田市、令和6年1月8日 指導者6名、団員16名)

(3) 海外交流事業

スポーツ少年団日独スポーツ交流事業 (受入：にかほ市、令和5年7月28日～8月1日

派遣：令和5年7月27日～8月13日 団員3名)

(4) スポーツ少年団モデル育成事業

八峰町、井川町、東成瀬村においてスポーツ交流会を実施

4 スタートコーチ（スポーツ少年団）養成講習会等、スポーツ少年団顕彰等

- (1) スタートコーチ（スポーツ少年団）養成講習会（秋田市、令和5年6月24日 66名 令和5年7月22日 37名 令和5年8月19日 22名 令和5年9月9日 35名 令和5年10月14日 37名 令和5年10月27日 64名 大館市、令和5年8月26日 61名 大仙市、令和5年9月30日 53名）
- (2) 指導者等再研修会・育成母集団研修会（秋田市、令和5年12月9日 142名 横手市、令和6年12月1日 31名 大館市 令和6年2月10日 40名）
- (3) スポーツ少年団顕彰事業
功労者11名、優秀指導者3名、優秀単位団7団、優秀母集団2団
- (4) スポーツ少年団広報事業
 - ①広報誌「スポーツ少年秋田」（年2回 4,400部）
 - ②「スポーツ少年団の現状」（年1回 850部）
 - ③創設60周年記念誌の発行、創設60周年記念式典・表彰を実施

《収益事業》

- 1 自主財源確保のための飲料水等販売事業 【6,108千円】
 - (1) 自動販売機事業（17施設 67台設置）
（事業収入 6,327千円）

Ⅲ 組織運営及び財政確立

1 組織の充実

事務局の実施業務の効率的執行のため、課・担当を横断した業務遂行に努めたほか、強化委員による競技団体ヒアリングの実施や「第2期チームAKITA1,000点プラン」達成に向けての検討など強化対策に努めた。

2 財政の確立

(1) 賛助会員

法人113団体 個人22名
・受取会費 1,642千円

(2) 寄附金

法人24団体 個人31名
・寄附金総額 4,950千円

(3) 特別寄附金

秋田ノーザンハピネッツ株式会社から、バスケットボールの普及・振興等のための寄附
・寄附金総額 1,000千円